

六角川における治水事業の効果

- 平成28年6月洪水は、堤防決壊や越水、内水等で約5,000戸が浸水した昭和55年8月洪水と同規模の洪水。
- 過去2度の激甚災害対策特別緊急事業やその後の河道改修、排水機場等の整備効果により、昭和55年洪水より6時間雨量は多かった(約1.2倍)ものの、**浸水戸数は1/100以下に減少。(4,835戸 → 46戸)**
- 近年最大洪水の平成2年7月洪水に対応するためには、今後も計画的な治水対策が必要。

